

平成25年度

美作市一般会計・特別会計歳入歳出決算
及び基金運用状況審査意見書

美 作 市 監 査 委 員

美作監査第71号
平成26年8月26日

美作市長 萩原 誠司 殿

美作市監査委員	窪田	功
同	高田	修平
同	松本	妙子
同	日笠	一成

平成25年度美作市各会計歳入歳出決算
及び基金運用状況の審査について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により審査に付された、平成25年度美作市一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算とその附属書類並びに基金運用状況を審査したので、その結果を次のとおり意見を付して提出します。

目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
1	総括	2
(1)	決算額の状況	2
(2)	決算収支の状況	3
(3)	市債の状況	4
(4)	財政の状況	5
2	一般会計	7
(1)	決算概要	7
(2)	歳入	7
(3)	歳出	18
3	特別会計	26
(1)	決算概要	26
(2)	各会計の概要	29
①	国民健康保険特別会計（事業勘定）	29
〃	（作東診療所直診勘定）	30
〃	（福山診療所直診勘定）	31
②	介護保険特別会計（保険事業勘定）	32
〃	（介護サービス事業勘定）	33
③	簡易水道特別会計	33
④	土地取得特別会計	34
⑤	住宅新築資金等貸付事業特別会計	35
⑥	公園墓地事業特別会計	35
⑦	都市と農村の交流施設特別会計	36
⑧	老人保健施設事業特別会計	37
⑨	矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金特別会計	38
⑩	武蔵の里特別会計	38
⑪	後期高齢者医療特別会計	39
⑫	愛の村パーク特別会計	40
4	財産に関する調書	41
5	基金の運用状況	42
6	むすび	44

- (注) ① 説明中の金額は原則として千円単位で表し、千円未満については四捨五入した。
このため計数が一致しないことがある。
- ② 文中のポイントとは、パーセンテージ間の単純差引数値である。
- ③ 比率・割合は、原則として小数点第2位を四捨五入した。このため計数が一致しない場合がある。
- ④ 各表中比較増減の減は、△印で表示した。

平成25年度美作市一般会計及び特別会計決算審査意見書

第1 審査の対象

- 平成25年度 美作市一般会計決算
- 平成25年度 美作市国民健康保険特別会計決算
- 平成25年度 美作市介護保険特別会計決算
- 平成25年度 美作市簡易水道特別会計決算
- 平成25年度 美作市土地取得特別会計決算
- 平成25年度 美作市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算
- 平成25年度 美作市公園墓地事業特別会計決算
- 平成25年度 美作市都市と農村の交流施設特別会計決算
- 平成25年度 美作市老人保健施設事業特別会計決算
- 平成25年度 矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金特別会計決算
- 平成25年度 美作市武蔵の里特別会計決算
- 平成25年度 美作市後期高齢者医療特別会計決算
- 平成25年度 美作市愛の村パーク特別会計
- 平成25年度 美作市財産に関する調書
- 平成25年度 美作市基金の運用状況

第2 審査の期間

平成26年7月8日から平成26年8月20日

第3 審査の方法

審査にあたっては、各会計歳入歳出決算書及び付属書類が関係法令に適合して作成されているかどうかを確認し、これらの計数の正確性、また事務処理の正否、予算執行上の適否について関係諸帳簿及び関係資料を照査し、担当職員の説明を聴取して比較分析等の検討を加えて審査した。

第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及びその他関係諸帳簿等は、いずれも関係法令に準拠して作成され、計数も関係書類と符号し、正確であると認められた。また事務処理、予算の執行状況についてはおおむね適正であると認められるが、第4の6(2)に記載したとおり遺漏も多く見受けられるため、改善をはかられたい。

なお、決算の内容と意見等は次に述べるとおりである。

1 総括

(1) 決算額の状況

平成25年度一般会計及び特別会計の決算の状況は、

予算現額	33,573,619,000円	
歳入総額	33,616,218,974円	(予算収入率 100.1%)
歳出総額	32,263,282,247円	(予算執行率 96.1%)
差引	1,352,936,727円	となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

決算規模の推移

(単位：千円・%)

区 分		平成25年度	平成24年度	前年度対比	
				増 減	比 率
一般会計	予算現額	23,781,319	22,319,890	1,461,429	106.5
	歳入決算額	23,978,787	22,474,587	1,504,200	106.7
	歳出決算額	22,896,998	21,381,404	1,515,594	107.1
	歳入歳出差引	1,081,789	1,093,183	△ 11,393	99.0
特別会計	予算現額	9,792,300	10,144,008	△ 351,708	96.5
	歳入決算額	9,637,432	9,892,768	△ 255,336	97.4
	歳出決算額	9,366,285	9,628,779	△ 262,494	97.3
	歳入歳出差引	271,147	263,989	7,158	102.7
合 計	予算現額	33,573,619	32,463,898	1,109,721	103.4
	歳入決算額	33,616,219	32,367,354	1,248,865	103.9
	歳出決算額	32,263,282	31,010,183	1,253,099	104.0
	歳入歳出差引	1,352,937	1,357,171	△ 4,234	99.7

一般会計では、歳入 23,978,787 千円、歳出 22,896,998 千円となっており、歳入歳出差引額は 1,081,789 千円の黒字となっている。

特別会計（12 会計）では、歳入 9,637,432 千円、歳出 9,366,285 千円となっており、歳入歳出差引額は 271,147 千円の黒字となっている。

総決算額では前年度と対比すると、歳入歳出決算額は 4,234 千円の減となっている。

(2) 普通会計による決算収支の状況

一般・特別会計の決算収支状況は、次表のとおりである。

一般・特別会計決算収支の推移

(単位：千円)

区 分		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額 (形式収支)	翌年度へ繰越 すべき財源	実質収支	単年度収支
平成 25 年度	一般会計	23,978,787	22,896,998	1,081,789	23,813	1,057,976	9,789
	特別会計	9,637,432	9,366,285	271,147	0	271,147	7,158
	合計	33,616,219	32,263,282	1,352,937	23,813	1,329,123	16,947
平成 24 年度	一般会計	22,474,587	21,381,404	1,093,183	44,996	1,048,187	△ 215,280
	特別会計	9,892,768	9,628,779	263,989	0	263,989	39,337
	合計	32,367,354	31,010,183	1,357,171	44,996	1,312,176	△ 175,943

一般会計及び特別会計の総額では、歳入歳出差引額 1,352,937 千円の剰余金を生じているが、このうちには翌年度へ繰り越すべき財源として、繰越明許費の繰越額 23,813 千円が含まれているので、これを控除した実質収支では 1,329,123 千円の黒字となっている。

なお、本年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支では 16,947 千円の黒字となっている。

(3) 市債の状況

市債の現在高は、次表のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	平成 24 年度末現在高	平成 25 年度借入金	平成 25 年度償還元金	平成 25 年度末現在高	前年度比
一 般 会 計	28,912,055	3,542,600	3,454,058	29,000,597	100.3
特 別 会 計	3,941,315	133,400	259,295	3,815,420	96.8
合 計	32,853,370	3,676,000	3,713,353	32,816,018	99.9

歳入決算額に占める市債発行額の割合は、次表のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	平成 25 年度			平成 24 年度			前年度 対 比
	歳入決算額	市債発行額	市債の 割 合	歳入決算額	市債発行額	市債の 割 合	
一 般 会 計	23,978,787	3,542,600	14.8	22,474,587	2,753,262	12.3	2.5
特 別 会 計	9,637,432	133,400	1.4	9,892,768	206,600	2.1	△0.7
合 計	33,616,219	3,676,000	10.9	32,367,355	2,959,862	9.1	1.8

歳出決算額に占める長期債償還金（元金・利子）の割合は、次表のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	平成 25 年度			平成 24 年度			前年度 対 比
	歳出決算額	長期債償還額	償還額 の割合	歳出決算額	長期債償還額	償還額 の割合	
一 般 会 計	22,896,998	3,769,428	16.5	21,381,404	3,754,642	17.6	△1.1
特 別 会 計	9,366,285	346,730	3.7	9,628,779	353,384	3.7	0.0
合 計	32,263,282	4,116,158	12.8	31,010,183	4,108,026	13.2	△0.5

(4) 普通会計による財政の状況

一般会計・特別会計純計決算総括表

(単位：千円)

普通会計	区 分		一般会計	特別会計	合 計
	歳 入	決 算 額		23,978,787	307,178
重 複 控 除			10,857	89,525	100,382
純計決算額			23,967,930	217,653	24,185,583
歳 出	決 算 額		22,896,998	283,688	23,180,686
	重 複 控 除		89,525	10,857	100,382
	純計決算額		22,807,473	272,831	23,080,304
差引残額	決 算 額		1,081,789	23,490	1,105,279
	純計決算額		1,160,457	△55,178	1,105,279

※ 普通会計とは、総務省で定める基準により作成される統計上の会計で、一般会計と特定の特別会計（美作市においては土地取得特別会計・住宅新築資金等貸付事業特別会計・公園墓地事業特別会計・矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金特別会計・武蔵の里特別会計・愛の村パーク会計の計6会計）を合算し、重複額等を控除した額である。

※ 重複控除とは、各会計相互間の繰入額、繰出額が含まれているので、それを控除した額である。

純計決算額は、歳入 24,185,583 千円、歳出 23,080,304 千円で、純計収支は 1,105,279 千円の黒字となっている。

また、財政の構造について、普通会計における財政分析の状況は次表のとおりである。

財 政 指 標 比 較 表

普通会計	区 分	財 政 力 指 数	経 常 収 支 比 率	実 質 公 債 費 比 率
	平成 25 年度	0.262	% 89.1	% 15.8
平成 24 年度	0.260	91.6	16.2	
差 引	0.002	△2.5	△0.4	

ア. 財政力指数

財政力指数は0.262で、前年度に比べ0.002ポイント好転している。この指数は、地方公共団体の財政力を評価する時に用いられるもので、指数が1に近いほど財政力が強いと見ることができ、1を超えると普通交付税不交付団体となる。

イ. 経常収支比率

経常収支比率は89.1%で、前年度に比べ2.5ポイント好転している。通常、財政構造の弾力性を示すもので、比率が高いほど財政の硬直化が進んでいるとみられる。一般的にはこの数値が75%程度におさまることが妥当とされ、80%を超えると財政構造は弾力性を失いつつあると考えられる。

ウ. 実質公債費比率

実質公債費比率は15.8%であり、前年度に比べ0.4ポイント好転している。

実質公債費比率は、平成18年度から地方債における起債許可制度が、国や都道府県の許可がなくとも地方債が発行できる「協議制」に移行したことに伴い、起債制限比率に代わる新たな指標として導入された。これまでの起債制限比率の算定基礎であった公債費に加えて、公営企業債（特別会計・企業会計）元利償還に対する繰出金や、減債基金の積み立て状況等を加味して算定される。今後はこの比率が、協議団体への移行及び起債制限の新しい基準となる。

実質公債費比率の基準では、18%以上25%未満で起債許可団体となり、25%以上30%未満で一般単独債等の起債が制限される。

2 美作市一般会計

(1) 決算概要

平成25年度一般会計の決算の状況は、

予算現額	23,781,319,000 円
歳入総額	23,978,786,845 円 (予算収入率 100.8%)
歳出総額	22,896,997,668 円 (予算執行率 96.3%)
差 引	1,081,789,177 円となっている。

一般会計の歳入歳出決算状況は、次表のとおりである。

一 般 会 計 決 算 収 支 状 況

(単位：千円・%)

区 分	平成25年度	平成24年度	前年度対比
歳 入 総 額	23,978,787	22,474,587	106.7
歳 出 総 額	22,896,998	21,381,404	107.1
歳 入 歳 出 差 引 額	1,081,789	1,093,183	99.0
翌 年 度 繰 越 財 源	23,813	44,996	52.9
実 質 収 支	1,057,976	1,048,187	100.9
単 年 度 収 支	9,789	△215,279	△4.5

本年度の実質収支は、1,057,976千円の黒字となっており、前年度実質収支を控除した単年度収支は9,789千円の黒字となっている。

(2) 歳入

① 決算の概況

歳入決算の状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位：円・%)

区 分	平成25年度	平成24年度	増 減	増減率	
予 算 現 額	23,781,319,000	22,319,890,000	1,461,429,000	6.5	
調 定 額	24,502,269,755	23,121,057,006	1,381,212,749	6.0	
収 入 済 額	金 額	23,978,786,845	22,474,586,503	1,504,200,342	6.7
	予算対比(収入率)	100.8	100.7	0.1	0.1
	調定対比(収納率)	97.9	97.2	0.7	0.7
不 納 欠 損 額	41,796,622	35,585,681	6,210,941	17.5	
収 入 未 済 額	481,686,288	610,884,822	△129,198,534	△21.1	

歳入の決算状況は、予算現額 23,781,319 千円に対し、収入済額は、23,978,787 千円で、予算に対する収入率は、100.8%となっており、前年度に対して 1,504,200 千円増加している。

また、調定額 24,502,270 千円に対する収納率は 97.9%となっており、不納欠損額 41,797 千円、収入未済額 481,686 千円が生じている。不納欠損額は市民税、固定資産税、軽自動車税、使用料であり、収入未済額は市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、諸収入である。

② 自主財源及び依存財源の状況

財源別歳入決算額は、次表のとおりである。

自主・依存財源分類表

(単位：千円・%)

区 分	平成 25 年度		平成 24 年度		前年度対比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減	増減率
自主財源	4,980,794	20.8	4,995,048	22.2	△14,254	△0.3
依存財源	18,997,993	79.2	17,479,539	77.8	△1,518,454	8.7
合 計	23,978,787	100.0	22,474,587	100.0	1,504,200	6.7

※ 「自主財源」とは、市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入をいう。

※ 「依存財源」とは、自主財源以外の収入をいう。

歳入歳出決算に占める自主財源は4,980,794千円で、前年度に比べ14,254千円（0.3%）減少していて、その構成比は20.8%と前年度に比べ1.4ポイント減少している。

依存財源は18,997,993千円で、前年度に比べ1,518,454千円（8.7%）減少しているが、構成比は79.2%で、逆に前年度に比べ1.4ポイント増加している。

③ 款別決算状況

歳入の款別決算状況は、次表のとおりである。

款別歳入決算総括表

(単位：円・%)

区 分	平成 25 年度					平成 24 年度	前年度対比	
	予算現額	調定額	収入済額	歳入比率		収入済額	増減	増減率
				予算対比	構成比			
市 税	3,013,704,000	3,636,207,262	3,149,536,981	104.5	13.1	3,035,632,410	113,904,571	3.8
地 方 譲 与 税	220,000,000	223,318,000	223,318,000	101.5	0.9	234,821,324	△11,503,324	△4.9
利子割交付金	7,000,000	6,349,000	6,349,000	90.7	0.0	7,246,000	△897,000	△12.4
配当割交付金	5,000,000	11,236,000	11,236,000	224.7	0.0	5,863,000	5,373,000	91.6
株式等譲渡所得割交付金	1,000,000	15,672,000	15,672,000	1567.2	0.1	1,289,000	14,383,000	1,115.8
地方消費税交付金	260,000,000	259,493,000	259,493,000	99.8	1.1	261,720,000	△2,227,000	△0.9
ゴルフ場利用税交付金	50,000,000	49,536,846	49,536,846	99.1	0.2	58,439,728	△8,902,882	△15.2
自動車取得税交付金	50,000,000	55,266,000	55,266,000	110.5	0.2	61,777,000	△6,511,000	△10.5
地方特例交付金	8,290,000	8,290,000	8,290,000	100.0	0.0	8,305,000	△15,000	△0.2
地 方 交 付 税	11,424,151,000	11,748,166,000	11,748,166,000	102.8	49.0	11,672,331,000	75,835,000	0.6
交通安全対策特別交付金	6,200,000	5,503,000	5,503,000	88.8	0.0	5,665,000	△162,000	△2.9
分担金及び負担金	262,028,000	258,155,095	256,698,745	98.0	1.1	144,849,751	111,848,994	77.2
使用料及び手数料	347,185,000	396,712,264	370,600,818	106.7	1.6	698,648,359	△328,047,541	△47.0
国 庫 支 出 金	2,272,913,000	2,111,253,599	2,111,253,599	92.9	8.8	1,393,815,543	717,438,056	51.5
県 支 出 金	1,029,242,000	961,309,735	961,309,735	93.4	4.0	1,015,004,166	△53,694,431	△5.3
財 産 収 入	90,835,000	101,092,428	99,790,428	109.9	0.4	84,228,644	15,561,784	18.5
寄 附 金	33,549,000	38,537,252	38,537,252	114.9	0.2	3,300,779	35,236,473	1,067.5
繰 入 金	111,236,000	106,125,521	106,125,521	95.4	0.5	120,776,464	△14,650,943	△12.1
繰 越 金	569,088,000	569,088,536	569,088,536	100.0	2.4	649,556,135	△80,467,599	△12.4
諸 収 入	343,998,000	398,358,217	390,415,384	113.5	1.6	258,055,200	132,360,184	51.3
市 債	3,675,900,000	3,542,600,000	3,542,600,000	96.4	14.8	2,753,262,000	789,338,000	28.7
合 計	23,781,319,000	24,502,269,755	23,978,786,845	100.8	100.0	22,474,586,503	1,504,200,342	6.7

収入済額は前年度に対して1,504,200千円の増額となっている（前年度対比106.7%）これは主に使用料及び手数料、繰入金並びに繰越金が減収となったものの、国庫支出金、諸収入及び市債の大幅増によるものである。

款別収入済額では地方交付税が11,748,166千円で、全体の49.0%を占めており、次いで市債が3,542,600千円で全体の14.8%、市税が3,149,537千円で全体の13.1%となっている。

第1款 市税

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	3,013,704,000	3,636,207,262	3,149,536,981	41,241,022	445,429,259	104.5	86.6
24	2,838,271,000	3,642,970,296	3,035,632,410	35,585,681	571,752,205	107.0	83.3
増減	175,433,000	△6,763,034	113,904,571	5,655,341	△126,322,946	△2.5	3.3

税目別収納状況

(単位：円)

区分	平成25年度		平成24年度		増減		
	収入未済額	不納欠損額	収入未済額	不納欠損額	収入未済額	不納欠損額	
現年課税分	市 民 税	15,898,837	0	16,443,460	0	△544,623	0
	個 人	14,610,837	0	15,631,960	0	△1,021,123	0
	法 人	1,288,000	0	811,500	0	476,500	0
	固 定 資 産 税	86,109,929	1,004,700	83,013,611	999,100	3,096,318	5,600
	固 定 資 産 税	86,109,929	1,004,700	83,013,611	999,100	3,096,318	5,600
	国有資産等所在市町村交付金	0	0	0	0	0	0
	軽 自 動 車 税	2,472,485	0	2,518,080	21,600	△45,595	△21,600
	市 た ば こ 税	0	0	0	0	0	0
	特別土地保有税	0	0	0	0	0	0
	入 湯 税	0	0	0	0	0	0
計	104,481,251	1,004,700	101,975,151	1,020,700	2,506,100	△16,000	
滞納繰越分	市 民 税	42,231,347	5,270,891	50,332,857	3,901,784	△8,101,510	1,369,107
	個 人	36,857,959	3,440,523	43,165,661	3,349,590	△6,307,702	90,933
	法 人	5,373,388	1,830,368	7,167,196	552,194	△1,793,808	1,278,174
	固 定 資 産 税	292,030,506	33,981,800	412,395,640	29,773,937	△120,365,134	4,207,863
	固 定 資 産 税	292,030,506	33,981,800	412,395,640	29,773,937	△120,365,134	4,207,863
	国有資産等所在市町村交付金	0	0	0	0	0	0
	軽 自 動 車 税	6,686,155	983,631	7,048,557	889,260	△362,402	94,371
	市 た ば こ 税	0	0	0	0	0	0
	特別土地保有税	0	0	0	0	0	0
	入 湯 税	0	0	0	0	0	0
計	340,948,008	40,236,322	469,777,054	34,564,981	△128,829,046	5,671,341	
合計	市 民 税	58,130,184	5,270,891	66,776,317	3,901,784	△8,646,133	1,369,107
	個 人	51,468,796	3,440,523	58,797,621	3,349,590	△7,328,825	90,933
	法 人	6,661,388	1,830,368	7,978,696	552,194	△1,317,308	1,278,174
	固 定 資 産 税	378,140,435	34,986,500	495,409,251	30,773,037	△117,268,816	4,213,463
	固 定 資 産 税	378,140,435	34,986,500	495,409,251	30,773,037	△117,268,816	4,213,463
	国有資産等所在市町村交付金	0	0	0	0	0	0
	軽 自 動 車 税	9,158,640	983,631	9,566,637	910,860	△407,997	72,771
	市 た ば こ 税	0	0	0	0	0	0
	特別土地保有税	0	0	0	0	0	0
	入 湯 税	0	0	0	0	0	0
計	445,429,259	41,241,022	571,752,205	35,585,681	△126,322,946	5,655,341	

予算現額3,013,704千円に対して収入済額は3,149,537千円で、収入率は104.5%となっている。

また、調定額3,636,207千円に対する収納率は86.6%となっている。

前年度に対して収入済額は113,904千円増加している。

本年度の収入未済額は445,429千円であり、前年度に比べ126,323千円（22.1%）減少している。

また、前年度不納欠損額が35,586千円であるのに対し本年度は41,241千円である。不納欠損の主なものは滞納繰越分の固定資産税や個人市民税である。

すでにインターネットによる動産、不動産の競売等にて対策を行っているが、未収金については税の公平性や歳入確保の観点からも、様々な工夫をし、滞納対策の強化を図るなど、今後とも、収入未済額の縮減や徴収率のさらなる向上に努めていくよう要望する。

第2款 地方譲与税

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	220,000,000	223,318,000	223,318,000	0	0	101.5	100.0
24	220,000,000	234,821,324	234,821,324	0	0	106.7	100.0
増減	0	△11,503,324	△11,503,324	0	0	△5.2	0.0

予算現額220,000千円に対して収入済額は223,318千円で、収入率は101.5%となっている。

また、調定額223,318千円に対する収納率は100.0%となっている。

前年度に対して収入済額は11,503千円減少している。

第3款 利子割交付金

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	7,000,000	6,349,000	6,349,000	0	0	90.7	100.0
24	8,000,000	7,246,000	7,246,000	0	0	90.6	100.0
増減	△1,000,000	△897,000	△897,000	0	0	0.1	0.0

予算現額7,000千円に対して収入済額は6,349千円で、収入率は90.7%となっている。また、調定額6,349千円に対する収納率は100.0%となっている。

前年度に対して収入済額は897千円減少している。

第4款 配当割交付金

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	5,000,000	11,236,000	11,236,000	0	0	224.7	100.0
24	4,000,000	5,863,000	5,863,000	0	0	146.6	100.0
増減	1,000,000	5,373,000	5,373,000	0	0	78.1	0.0

予算現額5,000千円に対して収入済額は11,236千円で、収入率は224.7%となっている。また、調定額11,236千円に対する収納率は100.0%となっている。

前年度に対して収入済額は5,373千円増加している。

第5款 株式等譲渡所得割交付金

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	1,000,000	15,672,000	15,672,000	0	0	1,567.2	100.0
24	1,000,000	1,289,000	1,289,000	0	0	128.9	100.0
増減	0	14,383,000	14,383,000	0	0	1438.3	0.0

予算現額1,000千円に対して収入済額は15,672千円で、収入率は1,567.2%となっている。また、調定額15,672千円に対する収納率は100.0%となっている。

前年度に対して収入済額は14,383千円増加している。

第6款 地方消費税交付金

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	260,000,000	259,493,000	259,493,000	0	0	99.8	100.0
24	260,000,000	261,720,000	261,720,000	0	0	100.7	100.0
増減	0	△2,227,000	△2,227,000	0	0	△0.9	0.0

予算現額260,000千円に対して収入済額は259,493千円で、収入率は99.8%となっている。また、調定額259,493千円に対する収納率は100.0%となっている。

前年度に対して収入済額は2,227千円減少している。

第7款 ゴルフ場利用税交付金

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	50,000,000	49,536,846	49,536,846	0	0	99.1	100.0
24	60,000,000	58,439,728	58,439,728	0	0	97.4	100.0
増減	△10,000,000	△8,902,882	△8,902,882	0	0	1.7	0.0

予算現額50,000千円に対して収入済額は49,537千円で、収入率は99.1%となっている。また、調定額49,537千円に対する収納率は100.0%となっている。

前年度に対して収入済額は8,903千円減少している。

第8款 自動車取得税交付金

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	50,000,000	55,266,000	55,266,000	0	0	110.5	100.0
24	50,000,000	61,777,000	61,777,000	0	0	123.6	100.0
増減	0	△6,511,000	△6,511,000	0	0	△13.1	0.0

予算現額50,000千円に対して収入済額は55,266千円で、収入率は110.5%となっている。また、調定額55,266千円に対する収納率は100.0%となっている。

前年度に対して収入済額は6,511千円減少している。

第9款 地方特例交付金

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	8,290,000	8,290,000	8,290,000	0	0	100.0	100.0
24	8,305,000	8,305,000	8,305,000	0	0	100.0	100.0
増減	△15,000	△15,000	△15,000	0	0	0.0	0.0

予算現額8,290千円に対して収入済額は8,290千円で、収入率は100.0%となっている。また、調定額8,290千円に対する収納率は100.0%となっている。

前年度に対して収入済額は15千円減少している。

第10款 地方交付税

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	11,424,151,000	11,748,166,000	11,748,166,000	0	0	102.8	100.0
24	11,294,952,000	11,672,331,000	11,672,331,000	0	0	103.3	100.0
増減	129,199,000	75,835,000	75,835,000	0	0	△0.5	0.0

予算現額11,424,151千円に対して収入済額は11,748,166千円で、収入率は102.8%となっている。また、調定額11,748,166千円に対する収納率は100.0%となっている。

前年度に対して収入済額は75,835千円増加している。

第11款 交通安全対策特別交付金

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	6,200,000	5,503,000	5,503,000	0	0	88.8	100.0
24	6,200,000	5,665,000	5,665,000	0	0	91.4	100.0
増減	0	△162,000	△162,000	0	0	△2.6	0.0

予算現額6,200千円に対して収入済額は5,503千円で、収入率は88.8%となっている。また、調定額5,503千円に対する収納率は100.0%となっている。

前年度に対して収入済額は162千円減少している。

第12款 分担金及び負担金

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	262,028,000	258,155,095	256,698,745	0	1,456,350	98.0	99.4
24	150,428,000	144,863,251	144,849,751	0	13,500	96.3	100.0
増減	111,600,000	113,291,844	111,848,994	0	1,442,850	1.7	△0.6

予算現額262,028千円に対して収入済額は256,699千円で、収入率は98.0%となっている。また、調定額258,155千円に対する収納率は99.4%となっており収入未済額1,456千円が生じている。これは災害復旧費分担金(繰越明許)10千円と民生費負担金1,446千円である。

前年度に対して収入済額は111,849千円増加している。

第13款 使用料及び手数料

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	347,185,000	396,712,264	370,600,818	555,600	25,555,846	106.7	93.4
24	684,928,000	730,046,596	698,648,359	0	31,398,237	102.0	95.7
増減	△337,743,000	△333,334,332	△328,047,541	555,600	△5,842,391	4.7	△2.3

予算現額347,185千円に対して収入済額は370,601千円で、収入率は106.7%となっている。また、調定額396,712千円に対する収納率は93.4%となっており、収入未済額25,556千円が生じている。その主なものは、市営住宅使用料(滞納繰越分)19,735千円、光ケーブル設備使用料(滞納繰越分)1,335千円などである。

前年度に対して収入済額は328,048千円減少している。

第14款 国庫支出金

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	2,272,913,000	2,111,253,599	2,111,253,599	0	0	92.9	100.0
24	1,640,184,000	1,393,815,543	1,393,815,543	0	0	85.0	100.0
増減	632,729,000	717,438,056	717,438,056	0	0	7.9	0.0

予算現額2,272,913千円に対して収入済額は2,111,254千円で、収入率は92.9%となっている。また、調定額2,111,254千円に対する収納率は100.0%となっている。

前年度に対して収入済額は717,438千円増加している。

第15款 県支出金

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	1,029,242,000	961,309,735	961,309,735	0	0	93.4	100.0
24	1,058,626,000	1,015,004,166	1,015,004,166	0	0	95.9	100.0
増減	△29,384,000	△53,694,431	△53,694,431	0	0	△2.5	0.0

予算現額1,029,242千円に対して収入済額は961,310千円で、収入率は93.4%となっている。また、調定額961,310千円に対する収納率は100.0%となっている。

前年度に対して収入済額は53,694千円減少している。

第16款 財産収入

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	90,835,000	101,092,428	99,790,428	0	1,302,000	109.9	98.7
24	78,442,000	85,186,644	84,228,644	0	958,000	107.4	98.9
増減	12,393,000	15,905,784	15,561,784	0	344,000	2.5	△0.2

予算現額90,835千円に対して収入済額は99,790千円で、収入率は109.9%となっている。また、調定額101,092千円に対する収納率は98.7%となっており、収入未済額1,302千円が生じている。これは、土地建物貸付収入の未収1,302千円である。

前年度に対して収入済額は15,562千円増加している。

第17款 寄附金

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	33,549,000	38,537,252	38,537,252	0	0	114.9	100.0
24	3,330,000	3,300,779	3,300,779	0	0	99.1	100.0
増減	30,219,000	35,236,473	35,236,473	0	0	15.8	0.0

予算現額33,549千円に対して収入済額は38,537千円で、収入率は114.9%となっている。また、調定額38,537千円に対する収納率は100.0%となっている。

前年度に対して収入済額は35,236千円増加している。

第18款 繰入金

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	111,236,000	106,125,521	106,125,521	0	0	95.4	100.0
24	125,615,000	120,776,464	120,776,464	0	0	96.1	100.0
増減	△14,379,000	△14,650,943	△14,650,943	0	0	△0.7	0.0

予算現額111,236千円に対して収入済額は106,126千円で、収入率は95.4%となっている。また、調定額106,126千円に対する収納率は100.0%となっている。

前年度に対して収入済額は14,651千円減少している。

第19款 繰越金

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	569,088,000	569,088,536	569,088,536	0	0	100.0	100.0
24	649,556,000	649,556,135	649,556,135	0	0	100.0	100.0
増減	△80,468,000	△80,467,599	△80,467,599	0	0	0.0	0.0

予算現額569,088千円に対して収入済額は569,089千円で、収入率は100.0%となっている。

また、調定額569,089千円に対する収納率は100.0%となっている。

前年度に対して収入済額は80,468千円減少している。

第20款 諸収入

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	343,998,000	398,358,217	390,415,384	0	7,942,833	113.5	98.0
24	207,391,000	264,818,080	258,055,200	0	6,762,880	124.4	97.4
増減	136,607,000	133,540,137	132,360,184	0	1,179,953	△10.9	0.6

予算現額343,998千円に対して収入済額は390,415千円で、収入率は113.5%となっている。

また、調定額398,358千円に対する収納率は98.0%となっており、収入未済額7,943千円が生じている。その主なものは、給食事業収入44千円、雑入7,794千円である。

前年度に対して収入済額は132,360千円増加している。

第21款 市債

(単位：円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	収納率
25	3,675,900,000	3,542,600,000	3,542,600,000	0	0	96.4	100.0
24	2,970,662,000	2,753,262,000	2,753,262,000	0	0	92.7	100.0
増減	705,238,000	789,338,000	789,338,000	0	0	3.7	0.0

予算現額3,675,900千円に対して収入済額は3,542,600千円で、収入率は96.4%となっている。

また、調定額3,542,600千円に対する収納率は100.0%となっている。

前年度に対して収入済額は789,338千円増加している。

(3) 歳出

①決算の概況

歳出決算の状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

一般会計歳出決算状況

(単位：円・%)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	増 減	増 減 率	
予 算 現 額	23,781,319,000	22,319,890,000	1,461,429,000	6.5	
支 出 済 額	22,896,997,668	21,381,403,967	1,515,593,701	7.1	
翌 年 度 繰 越 額	継 続 費 通 次 繰 越	0	0	—	
	繰 越 明 許 費	249,276,000	448,335,000	△199,059,000	△44.4
	事 故 繰 越	0	0	0	—
	計	249,276,000	448,335,000	△119,059,000	△44.4
不 用 額	635,045,332	490,151,033	144,894,299	29.6	
予 算 対 比 (執 行 率)	96.3	95.8	0.5	—	

歳出の決算状況は、予算現額23,781,319千円に対し、支出済額22,896,998千円で、前年度に比べ1,515,594千円(7.1%)の増加となる。

予算現額に対する執行率は96.3%となっており、翌年度繰越額を勘案すると97.3%となる。

翌年度繰越額は249,276千円で、前年度に比べ199,059千円減少している。これは、市道改良事業等に充てられるものである。

また、不用額は635,045千円で前年度に比べ144,894千円(29.6%)増加している。不用額の主なものは、障害者福祉費の扶助費43,299千円、児童措置費の扶助費52,850千円である。

②使途別決算状況

使 途 別 決 算 状 況

(単位：千円・%)

性 質 別		平成 25 年度		平成 24 年度		前年度対比	
		決算額	構成比	決算額	構成比	増減	増減率
義務的経費	人件費	3,847,073	16.8	3,986,706	18.6	△139,633	△3.5
	扶助費	1,891,227	8.3	1,864,367	8.7	26,860	1.4
	公債費	3,769,801	16.4	3,754,924	17.6	14,877	0.4
	小計	9,508,101	41.5	9,605,997	44.9	△97,896	△1.0
消費的経費	物件費	2,465,213	10.8	2,598,669	12.2	△133,456	△5.1
	維持補修費	175,510	0.8	187,308	0.9	△11,798	△6.3
	補助費等	3,913,136	17.1	3,988,146	18.7	△75,010	△1.9
	小計	6,553,859	28.6	6,774,123	31.7	△220,264	△3.3
投資的経費	普通建設事業費	4,269,282	18.6	2,277,543	10.7	1,991,739	87.5
	災害復旧事業費	56,588	0.2	112,534	0.5	△55,946	△49.7
	小計	4,325,870	18.8	2,390,077	11.2	1,935,793	81.0
その他経費	積立金	656,097	2.9	648,779	3.0	7,318	1.1
	投資及び出資金	67,000	0.3	58,000	0.3	9,000	15.5
	貸付金	4,200	0.0	5,820	0.0	△1,620	△27.8
	繰出金	1,781,871	7.8	1,898,608	8.9	△116,737	△6.1
	小計	2,509,168	11.0	2,611,207	12.2	△102,039	△3.9
合 計		22,896,998	100.0	21,381,404	100.0	1,515,594	7.1

歳出決算を使途別に分類すると、人件費は3,847,073千円で、前年度に比べて139,633千円(3.5%)減少している。これは、給与減額、正職員の減少による給料、職員手当等の減少によるものであり、歳出に占める割合は、16.8%となっている。

普通建設事業費は4,269,282千円で前年度に比べて1,991,739千円(87.5%)増加している。これは、主に新ごみ処理施設整備事業にかかるものであり、歳出に占める割合も18.6%となっており、前年度を7.9ポイント上回っている。

災害復旧事業費は56,588千円で前年度に比べて55,946千円(49.7%)減少している。これは現年災害復旧事業費の減少によるものであり、歳出に占める割合も0.2%となっており、前年度を0.3ポイント下回っている。

③款別決算状況

歳出の款別決算状況は、次のとおりである。

款別歳出決算総括表

(単位：円・%)

区分	平成 25 年度						平成 24 年度	前年度対比	
	予算現額	支出済額	繰越額	不用額	執行率	構成比	支出済額	増減	増減率
議会費	185,575,000	176,932,908	0	8,642,092	95.3	0.8	211,399,277	△ 34,466,369	△ 16.3
総務費	2,429,464,000	2,321,640,133	0	107,823,867	95.6	10.1	2,351,413,663	△ 29,773,530	△ 1.3
民生費	4,648,709,000	4,452,394,408	3,074,000	193,240,592	95.8	19.4	4,441,124,673	11,269,735	0.3
衛生費	3,300,164,000	3,205,717,430	0	94,446,570	97.1	14.0	2,356,773,103	848,944,327	36.0
労働費	49,000	49,000	0	0	100.0	0.0	34,000	15,000	44.1
農林水産業費	1,682,186,000	1,609,221,640	22,720,000	50,244,360	95.7	7.0	1,559,503,330	49,718,310	3.2
商工費	659,293,000	638,162,304	0	21,130,696	96.8	2.8	845,974,995	△ 207,812,691	△ 24.6
土木費	3,383,590,000	3,149,703,244	183,918,000	49,968,756	93.1	13.7	2,950,136,135	199,567,109	6.8
消防費	1,566,708,000	1,547,170,007	2,961,000	16,576,993	98.8	6.8	856,974,861	690,195,146	80.5
教育費	1,377,352,000	1,318,420,479	2,804,000	56,127,521	95.7	5.8	1,291,800,666	26,619,813	2.1
災害復旧費	89,194,000	51,688,368	33,799,000	3,706,632	58.0	0.2	112,534,025	△ 60,845,657	△ 54.1
公債費	3,770,403,000	3,769,800,729	0	602,271	100.0	16.5	3,754,956,616	14,844,113	0.4
諸支出金	656,260,000	656,097,018	0	162,982	100.0	2.9	648,778,623	7,318,395	1.1
予備費	32,372,000	0	0	32,372,000	0.0	0.0	0	0	—
合計	23,781,319,000	22,896,997,668	249,276,000	635,045,332	96.3	100.0	21,381,403,967	1,515,593,701	7.1

支出済額は前年度に比べ1,515,594千円(7.1%)増加している。これは議会費、総務費、商工費及び災害復旧費が減額となったものの衛生費、土木費及び消防費等が増額となったものである。

款別支出済額では民生費が4,452,394千円(構成比19.4%)で最も多く、次いで公債費3,769,801千円(構成比16.5%)、衛生費3,205,717千円(構成比14.0%)となっている。

第1款 議会費

(単位：円・%)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減 率
議 会 費	185,575,000	176,932,908	0	8,642,092	95.3	211,399,277	△ 34,466,369	△ 16.3

支出済額は176,933千円で、前年度に対して34,466千円減少している。予算現額185,575千円に対する執行率は、95.3%である。

第2款 総務費

(単位：円・%)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減 率
総 務 管 理 費	1,987,207,000	1,912,374,557	0	74,832,443	96.2	1,976,360,338	△ 63,985,781	△ 3.2
徴 税 費	280,981,000	268,827,162	0	12,153,838	95.7	240,422,694	28,404,468	11.8
戸籍住民基本台帳費	70,149,000	68,722,650	0	1,426,350	98.0	69,312,747	△ 590,097	△ 0.9
選 挙 費	70,467,000	51,428,175	0	19,038,825	73.0	46,470,770	4,957,405	10.7
統 計 調 査 費	4,286,000	4,254,590	0	31,410	99.3	1,619,991	2,634,599	162.6
監 査 委 員 費	16,374,000	16,032,999	0	341,001	97.9	17,227,123	△ 1,194,124	△ 6.9
合 計	2,429,464,000	2,321,640,133	0	107,823,867	95.6	2,351,413,663	△ 29,773,530	△ 1.3

支出済額は、2,321,640千円で、前年度に対して29,774千円減少している。予算現額2,429,464千円に対する執行率は95.6%である。

第3款 民生費

(単位：円・%)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
社会福祉費	2,771,768,000	2,692,170,848	74,000	79,523,152	97.1	2,683,405,159	8,765,689	0.3
児童福祉費	1,309,313,000	1,234,576,702	3,000,000	71,736,298	94.3	1,230,688,862	3,887,840	0.3
生活保護費	565,832,000	524,638,999	0	41,193,001	92.7	526,253,384	△ 1,614,385	△ 0.3
国民年金事務取扱費	796,000	457,859	0	338,141	57.5	627,268	△ 169,409	△ 27.0
災害救助費	1,000,000	550,000	0	450,000	55.0	150,000	400,000	266.7
合 計	4,648,709,000	4,452,394,408	3,074,000	193,240,592	95.8	4,441,124,673	11,269,735	0.3

支出済額は、4,452,394千円で、前年度に対して11,270千円増加している。予算現額4,648,709千円に対する執行率は、95.8%となる。

第4款 衛生費

(単位：円・%)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
保健衛生費	798,387,000	745,651,800	0	52,735,200	93.4	781,330,416	△ 35,678,616	△ 4.6
清掃費	2,242,523,000	2,216,021,630	0	26,501,370	98.8	1,201,887,687	1,014,133,943	84.4
水道費	259,254,000	244,044,000	0	15,210,000	94.1	373,555,000	△ 129,511,000	△ 34.7
合 計	3,300,164,000	3,205,717,430	0	94,446,570	97.1	2,356,773,103	848,944,327	36.0

支出済額は、3,205,717千円で、前年度に対して848,944千円増加している。予算現額3,300,164千円に対する執行率は、97.1%となる。

第5款 労働費

(単位：円・%)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
労働諸費	49,000	49,000	0	0	100.0	34,000	15,000	44.1

支出済額は、49千円で、前年度に対して15千円増加している。予算現額49千円に対する執行率は、100%である。

第6款 農林水産業費

(単位：円・%)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
農 業 費	1,400,259,000	1,350,304,535	15,000,000	34,954,465	96.4	1,331,518,951	18,785,584	1.4
林 業 費	281,927,000	258,917,105	7,720,000	15,289,895	91.8	227,984,379	30,932,726	13.6
合 計	1,682,186,000	1,609,221,640	22,720,000	50,244,360	95.7	1,559,503,330	49,718,310	3.2

支出済額は、1,609,222千円で、前年度に対して49,718千円増加している。予算現額1,682,186千円に対する執行率は、95.7%で、翌年繰越額を含めると、97.0%となる。

第7款 商工費

(単位：円・%)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
商 工 費	659,293,000	638,162,304	0	21,130,696	96.8	845,974,995	△ 207,812,691	△ 24.6

支出済額は、638,162千円で、前年度に対して207,813千円減少している。予算現額659,293千円に対する執行率は、96.8%である。

第8款 土木費

(単位：円・%)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
土 木 管 理 費	270,018,000	268,452,118	0	1,565,882	99.4	373,689,818	△ 105,237,700	△ 28.2
道 路 橋 梁 費	1,178,288,000	954,199,580	183,918,000	40,170,420	81.0	626,370,509	327,829,071	52.3
河 川 費	5,000,000	4,148,550	0	851,450	83.0	2,490,600	1,657,950	66.6
都 市 計 画 費	29,851,000	28,282,431	0	1,568,569	94.7	24,197,776	4,084,655	16.9
下 水 道 費	1,855,940,000	1,855,940,000	0	0	100.0	1,891,556,000	△ 35,616,000	△ 1.9
住 宅 費	44,493,000	38,680,565	0	5,812,435	86.9	31,831,432	6,849,133	21.5
合 計	3,383,590,000	3,149,703,244	183,918,000	49,968,756	93.1	2,950,136,135	199,567,109	6.8

支出済額は、3,149,703千円で、前年度に対して199,567千円増加している。予算現額3,383,590千円に対する執行率は、93.1%で、翌年度繰越額を含めると98.5%となる。

第9款 消防費

(単位：円・%)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
消 防 費	1,566,708,000	1,547,170,007	2,961,000	16,576,993	98.8	856,974,861	690,195,146	80.5

支出済額は、1,547,170千円で、前年度に対して690,195千円増加している。予算現額1,566,708千円に対する執行率は、98.8%で、翌年度繰越額を含めると98.9%となる。

第10款 教育費

(単位：円・%)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
教 育 総 務 費	206,207,000	200,341,672	0	5,865,328	97.2	182,131,293	18,210,379	10.0
小 学 校 費	239,395,000	226,695,770	0	12,699,230	94.7	213,018,961	13,676,809	6.4
中 学 校 費	180,931,000	170,507,215	0	10,423,785	94.2	146,737,956	23,769,259	16.2
幼 稚 園 費	112,639,000	109,309,319	0	3,329,681	97.0	162,930,392	△ 53,621,073	△ 32.9
社 会 教 育 費	144,812,000	135,973,462	0	8,838,538	93.9	132,544,234	3,429,228	2.6
保 健 体 育 費	493,368,000	475,593,041	2,804,000	14,970,959	96.4	454,437,830	21,155,211	4.7
合 計	1,377,352,000	1,318,420,479	2,804,000	56,127,521	95.7	1,291,800,666	26,619,813	2.1

支出済額は、1,318,420千円で、前年度に対して26,620千円増加している。予算現額1,377,352千円に対する執行率は、95.7%で、翌年度繰越額を含めると95.9%となる。

第11款 災害復旧費

(単位：円・%)

項	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額	増 減	増減率
農林水産業施設災害復旧費	37,042,000	30,000,712	3,755,000	3,286,288	81.0	61,689,721	△ 31,689,009	△ 51.4
公共土木施設災害復旧費	52,152,000	21,687,656	30,044,000	420,344	41.6	50,844,304	△ 29,156,648	△ 57.3
合 計	89,194,000	51,688,368	33,799,000	3,706,632	58.0	112,534,025	△ 60,845,657	△ 54.1

支出済額は、51,688千円で、前年度に対して60,846千円減少している。予算現額89,194千円に対する執行率は、58.0%で、翌年度繰越額を含めると、95.8%である。

第12款 公債費

(単位：円・%)

項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	前年度決算額	増減	増減率
公債費	3,770,403,000	3,769,800,729	0	602,271	100.0	3,754,956,616	14,844,113	0.4

支出済額は、3,769,801千円で、前年度に対して14,844千円増加している。予算現額3,770,403千円に対する執行率は、100.0%である。

第13款 諸支出金

(単位：円・%)

項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	前年度決算額	増減	増減率
基金費	656,260,000	656,097,018	0	162,982	100.0	648,778,623	7,318,395	1.1

支出済額は、656,097千円で、前年度に対して7,318千円増加している。予算現額656,260千円に対する執行率は、100.0%である。

第14款 予備費

(単位：円・%)

項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	前年度決算額	増減	増減率
予備費	32,372,000	0	0	32,372,000	0.0	0	0	-

支出済額は今年度、前年度共に0円で、予算現額32,372千円に対する執行率は、0%である。

3 特別会計

(1) 決算概要

平成25年度特別会計の決算の状況は、

予算現額	9,792,300,000円
歳入総額	9,637,432,129円（予算収入率 98.4%）
歳出総額	9,366,284,579円（予算執行率 95.6%）
差引	271,147,550円となっている。

特別会計の各会計の歳入歳出決算状況は、次表のとおりである。

特別会計決算総括表

(単位：円・%)

会計区分	予算現額	歳入		歳出		歳入歳出差引額
		決算額	予算 対比	決算額	予算 対比	
国民健康保険(事業勘定)	3,886,930,000	3,821,170,832	98.3	3,666,152,475	94.3	155,018,357
国民健康保険(作東診療所直診勘定)	126,481,000	126,580,862	100.1	101,085,381	79.9	25,495,481
国民健康保険(福山診療所直診勘定)	30,362,000	28,633,516	94.3	24,343,550	80.2	4,289,966
介護保険(保険事業勘定)	4,114,449,000	4,080,749,086	99.2	4,049,818,745	98.4	30,930,341
介護保険(介護サービス事業勘定)	19,618,000	19,848,234	101.2	17,973,166	91.6	1,875,068
簡易水道	592,168,000	543,201,247	91.7	542,866,992	91.7	334,255
土地取得	218,000	215,019	98.6	215,008	98.6	11
住宅新築資金等貸付事業	28,888,000	30,725,606	106.4	17,889,789	61.9	12,835,817
公園墓地事業	4,122,000	4,745,943	115.1	3,736,832	90.7	1,009,111
都市と農村の交流施設	8,861,000	8,914,398	100.6	7,508,812	84.7	1,405,586
老人保健施設事業	305,027,000	300,075,075	98.4	273,927,935	89.8	26,147,140
矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金	11,078,000	12,820,321	115.7	5,063,376	45.7	7,756,945
武蔵の里	181,855,000	180,748,140	99.4	179,091,909	98.5	1,656,231
後期高齢者医療	403,032,000	401,080,498	99.5	398,919,461	99.0	2,161,037
愛の村パーク	79,211,000	77,923,352	98.4	77,691,148	98.1	232,204
合計	9,792,300,000	9,637,432,129	98.4	9,366,284,579	95.6	271,147,550

各会計別では、予算規模は介護保険特別会計（保険事業勘定）が最も大きく、次いで国民健康保険特別会計（事業勘定）、簡易水道特別会計、後期高齢者医療特別会計となっている。

各会計別の決算収支の状況は、次表のとおりである。

特別会計決算収支状況

(単位：円)

会計別	歳入歳出差引額 (形式収支)	翌年度に繰り 超すべき財源	実質収支	前年度 実質収支	単年度収支
国民健康保険(事業勘定)	155,018,357	0	155,018,357	130,488,844	24,529,513
国民健康保険(作東診療所直診勘定)	25,495,481	0	25,495,481	25,012,655	482,826
国民健康保険(福山診療所直診勘定)	4,289,966	0	4,289,966	5,183,652	△ 893,686
国民健康保険(英田診療所直診勘定)	0	0	0	8,950,886	△ 8,950,886
介護保険(保険事業勘定)	30,930,341	0	30,930,341	48,072,421	△ 17,142,080
介護保険(介護サービス事業勘定)	1,875,068	0	1,875,068	556,099	1,318,969
簡易水道	334,255	0	334,255	650,193	△ 315,938
土地取得	11	0	11	36,907	△ 36,896
住宅新築資金等貸付事業	12,835,817	0	12,835,817	9,065,733	3,770,084
公園墓地事業	1,009,111	0	1,009,111	359,849	649,262
都市と農村の交流施設	1,405,586	0	1,405,586	520,116	885,470
老人保健施設事業	26,147,140	0	26,147,140	24,824,603	1,322,537
矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金	7,756,945	0	7,756,945	3,914,570	3,842,375
武蔵の里	1,656,231	0	1,656,231	2,042,133	△ 385,902
後期高齢者医療	2,161,037	0	2,161,037	1,666,000	495,037
愛の村パーク	232,204	0	232,204	2,644,124	△ 2,411,920
合計	271,147,550	0	271,147,550	263,988,785	7,158,765

本年度の特別会計全体の実質収支では、271,147千円の黒字となっており、前年度実質収支を控除した単年度収支は、7,158千円の黒字となっている。

なお、特別会計における歳入決算額には一般会計からの繰入金が含まれており、その状況を会計別に示すと、次表のとおりとなる。

(単位：円・%)

会計区分	歳 入		
	決算総額	繰 入 金	
		金 額	繰入比率
国民健康保険(事業勘定)	3,821,170,832	236,490,059	6.2
国民健康保険(作東診療所直診勘定)	126,580,862	33,646,000	26.6
国民健康保険(福山診療所直診勘定)	28,633,516	7,100,000	24.8
介護保険(保険事業勘定)	4,080,749,086	549,500,000	13.5
介護保険(介護サービス事業勘定)	19,848,234	0	0.0
簡 易 水 道	543,201,247	238,500,000	43.9
土 地 取 得	215,019	0	0.0
住宅新築資金等貸付事業	30,725,606	0	0.0
公 園 墓 地 事 業	4,745,943	0	0.0
都市と農村の交流施設	8,914,398	0	0.0
老人保健施設事業	300,075,075	570,000	0.2
矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金	12,820,321	0	0.0
武 蔵 の 里	180,748,140	54,549,000	30.2
後 期 高 齢 者 医 療	401,080,498	145,132,250	36.2
愛 の 村 パ ー ク	77,923,352	34,976,000	44.9
合 計	9,637,432,129	1,300,463,309	13.5

一般会計からの繰入金総額は1,300,463千円で、特別会計の歳入決算額の13.5%を占めている。

繰入額は介護保険(保険事業勘定)特別会計の549,550千円が最も多くなっている。

また歳入決算額に占める繰入額の割合は、愛の村パーク特別会計が44.9%と最も高くなっている。

(2) 各会計の概要

① 美作市国民健康保険特別会計

《事業勘定》

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(歳入)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比率
国民健康保険税	604,576,000	828,260,634	642,424,817	13,968,692	171,867,125	106.3	16.8
使用料及び手数料	150,000	461,415	461,415	0	0	307.6	0.0
国庫支出金	802,256,000	730,071,049	730,071,049	0	0	91.0	19.1
療養給付費等交付金	349,641,000	399,359,476	399,359,476	0	0	114.2	10.5
前期高齢者交付金	1,154,069,000	1,154,069,502	1,154,069,502	0	0	100.0	30.2
県支出金	176,934,000	150,252,937	150,252,937	0	0	84.9	3.9
共同事業交付金	349,127,000	350,391,995	350,391,995	0	0	100.4	9.2
財産収入	454,000	454,850	454,850	0	0	100.2	0.0
繰入金	302,138,000	236,490,059	236,490,059	0	0	78.3	6.2
繰越金	139,439,000	139,439,730	139,439,730	0	0	100.0	3.6
諸収入	8,146,000	18,149,449	17,755,002	0	394,447	218.0	0.5
合 計	3,886,930,000	4,007,401,096	3,821,170,832	13,968,692	172,261,572	98.3	100.0

(歳出)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比率
総 務 費	45,690,000	40,271,200	0	5,418,800	88.1	1.1
保 険 給 付 費	2,740,294,000	2,566,863,631	0	173,430,369	93.7	70.0
後期高齢者支援金等	401,120,000	401,118,912	0	1,088	100.0	10.9
前期高齢者納付金等	395,000	394,448	0	552	99.9	0.0
老人保健拠出金	30,000	20,901	0	9,099	69.7	0.0
介護納付金	180,313,000	177,847,450	0	2,465,550	98.6	4.9
共同事業拠出金	397,224,000	371,188,833	0	26,035,167	93.4	10.1
保健事業費	45,237,000	38,418,111	0	6,818,889	84.9	1.0
基金積立金	9,407,000	9,405,736	0	1,264	100.0	0.3
公 債 費	90,000	55,232	0	34,768	61.4	0.0
諸 支 出 金	62,130,000	60,568,021	0	1,561,979	97.5	1.7
予 備 費	5,000,000	0	0	5,000,000	0.0	0.0
合 計	3,886,930,000	3,666,152,475	0	220,777,525	94.3	100.0

歳入歳出予算現額は 3,886,930 千円で、これに対する歳入決算額は 3,821,171 千円（収入率 98.3%）、歳出決算額は 3,666,152 千円（執行率 94.3%）となっており、歳入歳出差引額は 155,018 千円となっている。

また、歳入においては不納欠損額 13,969 千円、収入未済額 172,262 千円が生じている。これは、国民健康保険税と諸収入によるものである。

《作東診療所直診勘定》

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(歳入)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比率
診 療 収 入	67,446,000	67,535,359	67,535,359	0	0	100.1	53.4
使用料及び手数料	193,000	122,725	122,725	0	0	63.6	0.1
財 産 収 入	83,000	83,464	83,464	0	0	100.6	0.1
繰 入 金	33,646,000	33,646,000	33,646,000	0	0	100.0	26.6
繰 越 金	25,012,000	25,012,655	25,012,655	0	0	100.0	19.8
諸 収 入	101,000	180,659	180,659	0	0	178.9	0.1
合 計	126,481,000	126,580,862	126,580,862	0	0	100.1	100.0

(歳出)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比率
総 務 費	38,433,000	36,245,551	0	2,187,449	94.3	35.9
医 業 費	35,941,000	34,492,924	0	1,448,076	96.0	34.1
公 債 費	30,270,000	30,263,442	0	6,558	100.0	29.9
諸 支 出 金	84,000	83,464	0	536	99.4	0.1
予 備 費	21,753,000	0	0	21,753,000	0.0	0.0
合 計	126,481,000	101,085,381	0	25,395,619	79.9	100.0

歳入歳出予算現額は 126,481 千円で、これに対する歳入決算額は 126,581 千円（収入率 100.1%）、歳出決算額は 101,085 千円（執行率 79.9%）となっており、歳入歳出差引額は 25,495 千円の黒字となっている。

《福山診療所直診勘定》

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(歳入)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比率
診 療 収 入	3,726,000	2,207,864	2,207,864	0	0	59.3	7.7
使用料及び手数料	10,000	0	0	0	0	0.0	0.0
繰 入 金	9,842,000	9,842,000	9,842,000	0	0	100.0	34.4
繰 越 金	5,183,000	5,183,652	5,183,652	0	0	100.0	18.1
諸 収 入	1,000	0	0	0	0	0.0	0.0
市 債	11,600,000	11,400,000	11,400,000	0	0	98.3	39.8
合 計	30,362,000	28,633,516	28,633,516	0	0	94.3	100.0

(歳出)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比率
総 務 費	23,173,000	22,617,886	0	555,114	97.6	92.9
医 業 費	2,246,000	1,725,664	0	520,336	76.8	7.1
予 備 費	4,943,000	0	0	4,943,000	0.0	0.0
合 計	30,362,000	24,343,550	0	6,018,450	80.2	100.0

歳入歳出予算現額は30,362千円で、これに対する歳入決算額は28,634千円(収入率94.3%)、歳出決算額は24,344千円(執行率80.2%)となっており、歳入歳出差引額は4,290千円の黒字となっている。

② 美作市介護保険特別会計

《保険事業勘定》

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(歳入)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比率
保 険 料	614,600,000	638,206,580	625,721,680	3,115,060	9,369,840	101.8	15.3
分担金及び負担金	1,714,000	1,575,000	1,575,000	0	0	91.9	0.0
使用料及び手数料	10,000	90,240	90,240	0	0	902.4	0.0
国 庫 支 出 金	1,098,162,000	1,095,812,843	1,095,812,843	0	0	99.8	26.9
支 払 基 金 交 付 金	1,148,112,000	1,126,884,794	1,126,884,794	0	0	98.2	27.6
県 支 出 金	597,137,000	588,569,553	588,569,553	0	0	98.6	14.4
財 産 収 入	70,000	70,847	70,847	0	0	101.2	0.0
繰 入 金	591,198,000	579,500,000	579,500,000	0	0	98.0	14.2
繰 越 金	48,072,000	48,072,421	48,072,421	0	0	100.0	1.2
諸 収 入	15,374,000	14,451,708	14,451,708	0	0	94.0	0.4
合 計	4,114,449,000	4,093,233,986	4,080,749,086	3,115,060	9,369,840	99.2	100.0

(歳出)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比率
総 務 費	54,507,000	49,837,027	0	4,669,973	91.4	1.2
保 険 給 付 費	3,925,801,000	3,885,844,395	0	39,956,605	99.0	96.0
地 域 支 援 事 業 費	115,703,000	104,424,099	0	11,278,901	90.3	2.6
基 金 積 立 金	71,000	70,847	0	153	99.8	0.0
公 債 費	1,000	0	0	1,000	0.0	0.0
諸 支 出 金	10,355,000	9,642,377	0	712,623	93.1	0.2
予 備 費	8,011,000	0	0	8,011,000	0.0	0.0
合 計	4,114,449,000	4,049,818,745	0	64,630,255	98.4	100.0

歳入歳出予算現額は4,114,449千円で、これに対する歳入決算額は4,080,749千円(収入率99.2%)、歳出決算額は4,049,819千円(執行率98.4%)となっており、歳入歳出差引額は30,930千円の黒字となっている。

また、歳入においては不納欠損額3,115千円、収入未済額9,370千円が生じている。これは、現年・過年度分の普通徴収保険料と繰入金によるものである。

《介護サービス事業勘定》

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(歳入)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比率
サービス収入	17,844,000	19,274,360	19,274,360	0	0	108.0	97.1
繰入金	1,208,000	0	0	0	0	0.0	0.0
繰越金	556,000	556,099	556,099	0	0	100.0	2.8
諸収入	10,000	17,775	17,775	0	0	177.8	0.1
合 計	19,618,000	19,848,234	19,848,234	0	0	101.2	100.0

(歳出)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比率
サービス事業費	19,608,000	17,973,166	0	1,634,834	91.7	100.0
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0	0.0
合 計	19,618,000	17,973,166	0	1,644,834	91.6	100.0

歳入歳出予算現額は19,618千円で、これに対する歳入決算額は19,848千円(収入率101.2%)、歳出決算額は17,973千円(執行率91.6%)となっており、歳入歳出差引額は1,875千円の黒字となっている。

③ 美作市簡易水道特別会計

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(歳入)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比率
分担金及び負担金	1,052,000	1,688,500	1,585,500	0	103,000	150.7	0.3
使用料及び手数料	134,800,000	137,572,505	135,362,084	0	2,210,421	100.4	24.9
国庫支出金	28,117,000	28,117,000	28,117,000	0	0	100.0	5.2
財産収入	31,000	31,686	31,686	0	0	102.2	0.0
繰入金	253,710,000	238,500,000	238,500,000	0	0	94.0	43.9
繰越金	650,000	650,193	650,193	0	0	100.0	0.1
諸収入	20,208,000	16,954,784	16,954,784	0	0	83.9	3.1
市債	153,600,000	122,000,000	122,000,000	0	0	79.4	22.5
合 計	592,168,000	545,514,668	543,201,247	0	2,313,421	91.7	100.0

(歳出)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比率
総 務 費	128,944,000	112,785,877	0	16,158,123	87.5	20.8
事 業 費	181,825,000	150,292,800	0	31,532,200	82.7	27.7
公 債 費	279,579,000	278,768,833	0	810,167	99.7	51.4
諸 支 出 金	1,020,000	1,019,482	0	518	99.9	0.2
予 備 費	800,000	0	0	800,000	0.0	0.0
合 計	592,168,000	542,866,992	0	49,301,008	91.7	100.0

歳入歳出予算現額は592,168千円で、これに対する歳入決算額は543,201千円（収入率91.7%）、歳出決算額は542,867千円（執行率91.7%）となっており、歳入歳出差引額は334千円の黒字となっている。

また、歳入においては収入未済額2,313千円が生じている。これは、簡易水道事業費分担金、簡易水道使用料によるものである。

④ 美作市土地取得特別会計

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(歳入)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比率
財 産 収 入	179,000	178,101	178,101	0	0	99.5	82.8
繰 越 金	37,000	36,907	36,907	0	0	99.7	17.2
諸 収 入	2,000	11	11	0	0	0.6	0.0
合 計	218,000	215,019	215,019	0	0	98.6	100.0

(歳出)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比率
総 務 費	218,000	215,008	0	2,992	98.6	100.0
合 計	218,000	215,008	0	2,992	98.6	100.0

歳入歳出予算現額は218千円で、これに対する歳入決算額は215千円（収入率98.6%）、歳出決算額は215千円（執行率98.6%）となっており、歳入歳出差引額は11円の黒字となっている。

⑤ 美作市住宅新築資金等貸付事業特別会計

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(歳入)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比率
県 支 出 金	1,384,000	1,384,000	1,384,000	0	0	100.0	4.5
財 産 収 入	55,000	55,076	55,076	0	0	100.1	0.2
繰 越 金	9,065,000	9,065,733	9,065,733	0	0	100.0	29.5
諸 収 入	18,384,000	450,287,976	20,220,797	0	430,067,179	110.0	65.8
合 計	28,888,000	460,792,785	30,725,606	0	430,067,179	106.4	100.0

(歳出)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比率
総 務 費	14,270,000	11,794,549	0	2,475,451	82.7	65.9
公 債 費	6,096,000	6,095,240	0	760	100.0	34.1
予 備 費	8,522,000	0	0	8,522,000	0.0	0.0
合 計	28,888,000	17,889,789	0	10,998,211	61.9	100.0

歳入歳出予算現額は28,888千円で、これに対する歳入決算額は30,726千円(収入率106.4%)、歳出決算額は17,890千円(執行率61.9%)となっており、歳入歳出差引額は12,836千円の黒字となっている。

また、歳入においては収入未済額430,067千円が生じている。これは、住宅新築資金等貸付金元利収入の未収によるものである。

⑥ 美作市公園墓地事業特別会計

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(歳入)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比率
使用料及び手数料	3,720,000	4,345,000	4,345,000	0	0	116.8	91.6
財 産 収 入	40,000	40,022	40,022	0	0	100.1	0.8
繰 越 金	359,000	359,849	359,849	0	0	100.2	7.6
繰 入 金	1,000	0	0	0	0	0.0	0.0
諸 収 入	2,000	1,072	1,072	0	0	53.6	0.0
合 計	4,122,000	4,745,943	4,745,943	0	0	115.1	100.0

(歳出)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比率
管 理 費	1,223,000	838,810	0	384,190	68.6	22.4
諸 支 出 金	2,899,000	2,898,022	0	978	100.0	77.6
合 計	4,122,000	3,736,832	0	385,168	90.7	100.0

歳入歳出予算現額は4,122千円で、これに対する歳入決算額は4,746千円(収入率115.1%)、歳出決算額は3,737千円(執行率90.7%)となっており、歳入歳出差引額は1,009千円の黒字となっている。

⑦ 美作市都市と農村の交流施設特別会計

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(歳入)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比率
使用料及び手数料	3,851,000	5,263,500	4,443,500	0	820,000	115.4	49.8
財 産 収 入	3,000	3,070	3,070	0	0	102.3	0.0
繰 越 金	520,000	520,116	520,116	0	0	100.0	5.8
諸 収 入	3,687,000	3,147,712	3,147,712	0	0	85.4	35.3
繰 入 金	800,000	800,000	800,000	0	0	100.0	9.0
合 計	8,861,000	9,734,398	8,914,398	0	820,000	100.6	100.0

(歳出)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比率
施 設 管 理 費	8,807,000	7,505,742	0	1,301,258	85.2	100.0
諸 支 出 金	4,000	3,070	0	930	76.8	0.0
予 備 費	50,000	0	0	50,000	0.0	0.0
合 計	8,861,000	7,508,812	0	1,352,188	84.7	100.0

歳入歳出予算現額は8,861千円で、これに対する歳入決算額は8,914千円(収入率100.6%)、歳出決算額は7,509千円(執行率84.7%)となっており、歳入歳出差引額は1,405千円の黒字となっている。

また、歳入においては収入未済額820千円が生じている。これは、ガレージ使用料の未収によるものである。

⑧ 美作市老人保健施設事業特別会計

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(歳入)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比率
介護保険収入	224,656,000	220,560,404	220,560,404	0	0	98.2	73.5
使用料及び手数料	47,968,000	47,337,487	47,222,637	0	114,850	98.4	15.7
繰入金	570,000	570,000	570,000	0	0	100.0	0.2
繰越金	24,824,000	24,824,603	24,824,603	0	0	100.0	8.3
諸収入	7,009,000	6,897,431	6,897,431	0	0	98.4	2.3
合 計	305,027,000	300,189,925	300,075,075	0	114,850	98.4	100.0

(歳出)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比率
総務費	208,072,000	203,140,368	0	4,931,632	97.6	74.2
医療費	25,035,000	21,456,244	0	3,578,756	85.7	7.8
指定居宅介護支援事業費	18,534,000	17,728,823	0	805,177	95.7	6.5
公債費	31,603,000	31,602,500	0	500	100.0	11.5
予備費	21,783,000	0	0	21,783,000	0.0	0.0
合 計	305,027,000	273,927,935	0	31,099,065	89.8	100.0

歳入歳出予算現額は 305,027 千円で、これに対する歳入決算額は 300,075 千円（収入率 98.4%）、歳出決算額は 273,928 千円（執行率 89.8%）となっており、歳入歳出差引額は 26,147 千円の黒字となっている。

また、歳入においては収入未済額 115 千円が生じている。これは、未収繰越分によるものである。

⑨ 矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金特別会計

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(歳入)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比率
財 産 収 入	63,000	63,898	63,898	0	0	101.4	0.5
繰 越 金	3,914,000	3,914,570	3,914,570	0	0	100.0	30.5
諸 収 入	7,101,000	12,231,853	8,841,853	0	3,390,000	124.5	69.0
合 計	11,078,000	16,210,321	12,820,321	0	3,390,000	115.7	100.0

(歳出)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比率
教 育 費	5,071,000	5,063,376	0	7,624	99.8	100.0
予 備 費	6,007,000	0	0	6,007,000	0.0	0.0
合 計	11,078,000	5,063,376	0	6,014,624	45.7	100.0

歳入歳出予算現額は11,078千円で、これに対する歳入決算額は12,820千円(収入率115.7%)、歳出決算額は5,063千円(執行率45.7%)となっており、歳入歳出差引額は7,757千円の黒字となっている。

また、歳入においては収入未済額3,390千円が生じている。これは、貸付金元利収入の未収によるものである。

⑩ 美作市武蔵の里特別会計

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(歳入)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比率
事 業 収 入	120,972,000	119,801,781	119,801,781	0	0	99.0	66.3
事 業 外 収 入	4,292,000	4,355,226	4,355,226	0	0	101.5	2.4
繰 入 金	54,549,000	54,549,000	54,549,000	0	0	100.0	30.2
繰 越 金	2,042,000	2,042,133	2,042,133	0	0	100.0	1.1
合 計	181,855,000	180,748,140	180,748,140	0	0	99.4	100.0

(歳出)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比率
事業費用	174,551,000	171,821,003	0	2,729,997	98.4	95.9
事業外費用	7,304,000	7,270,906	0	33,094	99.5	4.1
合 計	181,855,000	179,091,909	0	2,763,091	98.5	100.0

歳入歳出予算現額は181,855千円で、これに対する歳入決算額は180,748千円（収入率99.4%）、歳出決算額は179,092千円（執行率98.5%）となっており、歳入歳出差引額は1,656千円の黒字となっている。

⑪ 美作市後期高齢者医療特別会計

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(歳入)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比率
後期高齢者医療保険料	255,659,000	255,951,405	253,760,500	268,060	1,922,845	99.3	63.3
使用料及び手数料	50,000	52,060	52,060	0	0	104.1	0.0
繰 入 金	145,133,000	145,132,250	145,132,250	0	0	100.0	36.2
繰 越 金	1,666,000	1,666,000	1,666,000	0	0	100.0	0.4
諸 収 入	524,000	469,688	469,688	0	0	89.6	0.1
合 計	403,032,000	403,271,403	401,080,498	268,060	1,922,845	99.5	100.0

(歳出)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比率
総 務 費	6,440,000	4,610,598	0	1,829,402	71.6	1.2
後期高齢者医療広域連合納付金	394,257,000	392,265,750	0	1,991,250	99.5	98.3
諸 支 出 金	2,157,000	2,043,113	0	113,887	94.7	0.5
予 備 費	178,000	0	0	178,000	0.0	0.0
合 計	403,032,000	398,919,461	0	4,112,539	99.0	100.0

歳入歳出予算現額は403,032千円で、これに対する歳入決算額は401,080千円（収入率99.5%）、歳出決算額は398,919千円（執行率99.0%）となっており、歳入歳出差引額は2,161千円の黒字となっている。

また、歳入においては不納欠損額268千円、収入未済額1,923千円が生じている。これは、後期高齢者医療保険料の未収によるものである。

⑫ 美作市愛の村パーク特別会計

歳入及び歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(歳入)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	歳入比率	
						予算対比	構成比率
事 業 収 入	41,589,000	40,302,632	40,302,632	0	0	96.9	51.7
事 業 外 収 入	2,000	596	596	0	0	29.8	0.0
繰 入 金	34,976,000	34,976,000	34,976,000	0	0	100.0	44.9
繰 越 金	2,644,000	2,644,124	2,644,124	0	0	100.0	3.4
合 計	79,211,000	77,923,352	77,923,352	0	0	98.4	100.0

(歳出)

(単位：円・%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	歳出比率	
					予算対比	構成比率
事 業 費 用	79,211,000	77,691,148	0	1,519,852	98.1	100.0
合 計	79,211,000	77,691,148	0	1,519,852	98.1	100.0

歳入歳出予算額は79,211千円でこれに対する歳入決算額は77,923千円(収入率98.4%)、歳出決算額は77,691千円(執行率98.1%)となっており、歳入歳出差引額は232千円の黒字となっている。

4 財産に関する調書

財産の決算年度中の増減及び年度末状況は、次表のとおりである。

(1) 公有財産

区 分	単位	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
土地（山林含む）	m ²	21,794,845	6,093	21,800,938
建 物	m ²	255,313	3,089	258,402
山 林	面 積	m ²	0	17,576,726
	立木の推定蓄積量	m ³	5,273	300,696
有 価 証 券	千円	99,888	45,000	144,888
出 資 に よ る 権 利	千円	1,180,626	△ 28,000	1,152,626

(2) 物品

(単位：台)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
車 輛 等	429	△ 5	424

(3) 債権

(単位：千円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
債 権	40,364	△ 11,026	29,338

5 基金の運用状況

一般会計の基金の運用状況は、次表のとおりである。

(単位：千円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
美作市財政調整基金	3,781,513	527,597	4,309,110
美作市減債基金	1,290,601	77,960	1,368,561
美作市国際都市交流基金	50,895	38	50,933
美作市ふるさと創生基金	796,341	△ 6,521	789,820
美作市土地開発公社基金	16,175	12	16,187
美作市高齢者福祉基金	296,414	221	296,635
美作市水と土保全基金	48,997	36	49,033
美作市環境整備基金	205,689	153	205,842
美作市ケーブルテレビ運営基金	9,454	7	9,461
バレンタインホテル運営基金	17	27,684	27,701
大芦高原国際交流の村運営基金	96,032	△ 57,583	38,449
常備消防施設整備基金	977	1	978
英田小学校、英田中学校教育施設整備基金	73,360	△ 15,198	58,162
第三セクター「東粟倉特産物販売有限公司」運営基金	20,380	15	20,395
美作市地域振興基金	3,280,002	43,000	3,323,002
ふるさと美作応援基金	1,447	711	2,158
美作市公共施設整備基金	800,576	500,597	1,301,173
美作市どんぐりの森基金	14,134	△ 5,808	8,326
合 計	10,783,004	1,092,922	11,875,926

特別会計の基金の運用状況は、次表のとおりである。

(単位：千円)

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
美作市国民健康保険事業財政調整基金		585,216	430	585,646
美作市立診療所施設整備基金		145,037	9,059	154,096
美作市介護給付費等準備基金		95,020	△ 29,929	65,091
美作市簡易水道財政調整基金		36,460	1,019	37,479
美作市土地開発基金	現金	238,868	215	239,083
	土地	230,797	0	230,797
美作市住宅新築資金等貸付事業基金		73,869	55	73,924
美作市公園墓地事業基金		53,678	2,898	56,576
英田河会地区都市と農村の交流施設整備基金		4,120	△ 797	3,323
矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金		85,700	0	85,700
合 計		1,548,765	△ 17,050	1,531,715

平成 26 年 3 月末現在の基金数は、28 基金で一般会計関係 18 基金、特別会計関係 10 基金ある。

6 むすび

(1) 決算審査の概要と決算額に対する意見

平成25年度における一般会計及び特別会計歳入歳出決算審査の概要は以下のとおりである。

歳入歳出決算の状況は、一般会計と12の特別会計の総額で、歳入決算額が33,616,219千円、歳出決算額が32,263,282千円となっている。これを決算収支で見ると、歳入歳出差引額（形式収支）から翌年度へ繰越すべき財源を控除した実質収支は、一般会計で1,057,976千円の黒字、特別会計では271,147千円の黒字、総額で1,329,123千円の黒字となっている。本年度実質収支から前年度実質収支を控除した単年度収支は、一般会計では9,789千円の黒字、特別会計では7,158千円の黒字、総額で16,947千円の黒字となっている。

歳入について、決算額33,616,219千円は、予算現額33,573,619千円に対して100.1%、調定額34,777,313千円に対して96.7%の割合となっている。不納欠損額は59,149千円で、内訳は一般会計が41,797千円、国民健康保険特別会計（事業勘定）が13,969千円、介護保険特別会計（保険事業勘定）3,115千円、後期高齢者医療特別会計が268千円になっており、いずれも関係法令に基づき適正に処理されているものと認めた。

また、収入未済額は1,101,946千円となっている。内訳は一般会計が481,686千円、国民健康保険特別会計が172,262千円、介護保険特別会計が9,370千円、簡易水道特別会計が2,313千円、住宅新築資金等貸付事業特別会計が430,067千円、都市と農村の交流施設特別会計が820千円、老人保健施設事業特別会計が115千円、矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金特別会計が3,390千円、後期高齢者医療特別会計が1,923千円となっている。不納欠損及び収入未済額は、納税者に不公平感を抱かせるだけでなく、納付意欲を低下させるものである。税負担の公平性はもとより自主財源確保の観点から常に徴収不能のリスクを念頭に置き、早期に個々の情報を十分調査のうえ、差押等の債権保全策を講じるという意識改革が、これまで以上に必要であると考え。なお、不納欠損処分については法令等の趣旨に沿って引き続き厳正に運用されたい。

歳出については、決算額は32,263,282千円で、予算現額33,573,619千円に対し96.1%の割合になっており、翌年度繰越額は249,276千円、不用額は1,061,061千円となっている。事業の実施にあたっては、極めて厳しい財政状況であることを踏まえ適正な予算措置を講じ、計画性のある効率的な推進に努めるよう努力されたい。

(2) 予算執行状況及び事務処理に対する意見及び指摘事項

審査の結果、予算、会計事務において、おおむね適正に行われていると認められたが、法令等の研鑽不足等により、次のとおり不適正な事項が認められたので、今後は適正な事務執行に努められたい。

①調定額について予算額が調定額を上回っている事例が見受けられる。

予算は地方自治法第208条第2項により収支均衡を義務づけられ、歳出は、当該年度の歳入をもってまかなうことを基本原則としており、ゆえに調定額を上回る歳入歳出予算は予算執行上、歳入欠陥、並びに赤字決算を来す恐れがある。歳入の現状を常に把握し、速やかに減額補正等に対応していくこと。

②不用額については補正予算額を上回る不用額が発生している状況が見受けられる。

不用額については、事業内容を見直し費用の節減に努めたものと、事業未執行があったものがあるが、補正予算編成にあたっては確実な施策事項項目と積算等により、予算の効率的使用という観点から業務の執行状況を把握し減額補正等の対応をすること。

③予定価格について専決権者は美作市契約規則第12条の規定に基づき予定価格を定めることとされているが、専決権者の予定価格決定の際の必要事項が記載されていないものが見受けられた。

予定価格は、美作市契約規則第10条3項の規定により契約の目的となる物件又は役務について、取引の実例価格、需要の状況履行の難易、数量の多寡、履行期間の長短等を考慮して適正に定められている。予定価格書の作成において、本来契約締結に係る決裁権者が予定価格等の必要事項を記載して署名、押印することとなっており、決裁権者が記載して作成しているとはいえ、事務決裁規程どおりの予定価格の決裁がされていないため、直ちに改められたい。

④随意契約伺いについて、地方自治法第234条第2項、地方自治法施行令第167条の2第1項による随意契約適用条項、随意契約理由等の記載が不十分で不適切な事例が見受けられる。

随意契約は例外的な方式であり理由を明確にする必要がある。随意契約理由書において見積り合せ省略の適用条項に「緊急を要する」が随所にあるが、明確な説明がなされ

ていない。また、単独随意契約においては、他の見積書を徴収せず有利と判断している事例等の不適切な事例がみられたので、契約の経済性・公平性・透明性を確保するため、契約事務の適正な執行に努められたい。

⑤検査復命書において仕様書との整合性が保たれていない場合が見受けられた。

物品納入時において、仕様書に定められている提出すべき書類が未提出の事例があった。今後完了確認検査においては仕様書どおりに納品できているか責任をもって対応されたい。

⑥道路愛護報奨金について合併以前の旧町村間で報奨金の支出根拠が統一化されてなく公平性が保たれていない。

支所単位で予算化されており、合併前から独自に残ってきた経緯はあるが、支払い根拠は統一されてなく、支所単位に基準額を定めた地区、距離重視の地区等さまざまであり、単価にも大きな差が生じ均衡が保たれていない現状から早急に基準額、加算条件等を整備されたい。

⑦どんぐりの森植樹等業務委託について植樹等による山林再生対策の強化を図ること

植樹面積の追加に伴い補正で基金繰入金を計上されているが、実質はほとんど執行されてなく、現状では不測事態の発生も予測されることから、速やかに山林再生対策の強化を図るとともに不測事態発生の防止に努められたい。

⑧東栗倉工房（株）経営診断調査業務委託契約において起案合議および検査確認に不適切な部分が見受けられる。

当調査は政策判断ということで政策調査費から執行され、決裁課の説明責任が課せられるが、実務担当課との起案合議がなされていない上、成果の中間報告等において未提出部分があり、検査において確認不足が見受けられ、決裁規定、文書管理の指導が必要である。なおその支払事務に遺漏があるので、相当措置されたい。

⑨通学バス運行委託料について美作市運転者組合における1日拘束分の空き時間について有意義な運用計画を求める

通学バス運行委託料・校外活動バス運行委託料において、地区により運行距離及び運行時間の差がある中で一律の委託料を支払っているが、空き時間を利用した関連業務の

運用等を行うことができないか検討されたい。

- ⑩放課後児童クラブ事業委託料については、指定管理委託（美作市社会福祉協議会）の運営について多額の余剰金が発生していることから、委託事業内容はもとより利用状況並びに運営状況の把握に努め、「美作市公の施設の指定管理者の指定の手続きに関する条例」第4条に適合しているかなどの判断も含め、また関係法令の改正も踏まえて再検討されたい。

- ⑪武蔵の里・愛の村パークへ恒常的に多額の補てんを余儀なくされている状況から抜本的な改革推進に取り組まれたい。

25年度繰出金として武蔵の里特別会計、愛の村パーク特別会計に多額の補てんを余儀なくされている。今後、「第三セクター等の抜本的改革の推進等について」等総務省からの助言通達に基づき、抜本的な改革推進に取り組まれたい。

- ⑫美作市ケーブルテレビの運営形態の再検討について

美作市ケーブルテレビの運営形態の検討について、緊急時の対応について編集・放送権の問題もあり協議時間を要する等課題があると見受けられることから官民経営のメリットデメリットを比較調査し、運営形態含めて再検討されたい。

- ⑬コピー使用料について

コピー使用料については、使用料・手数料条例制定の趣旨に準じ当該事務に要する経費とその事務により受ける特定の者の利益とを考慮した徴収根拠を明らかにし内規等で定めて周知されたい。

- ⑭財産に関する調書について、

同調書に記載されている「決算年度末現在高」の内、東粟倉工房（株）の有価証券、（株）雲海の出資金は額面金額で算出されているが、清算終了を間近にして会社価値もほぼ掌握可能の状況下においてはその現在高には疑義がある。

- ⑮議会だよりの未発行等について

美作市議会においては、議会の活性化等を図るべく、議会改革特別委員会を設置し、議会の活性化策等について鋭意検討されていることは承知している。

しかし、美作市議会広報紙の発行に関する規程では、議会の広報紙を年4回、定例会

ごとに発行することを定めているが、平成19年以降発行されておらず、予算計上もされていない。このため、臨時議会と全委員会の情報がほとんど市民に伝えられていなく、市民の政治離れにつながるものが危惧されるため、危機意識を持って迅速に対応されたい。

⑯清算予定会社への出資金支出について

美作市では、清算方針を決定していた第三セクターである東粟倉工房株式会社及び株式会社雲海に対し、東粟倉工房株式会社に対しては4,500万円、株式会社雲海に対しては2,200万円を、「投資及び出資金」として支出し、両者の株式等を取得しているが、これは「継続企業の前提がなければ、株式投資は成立しえない。」（ゴーイングコンサーン）という前提を欠いた投資であるほか、議会説明でも清算に必要な資金である旨説明されていることから、実質的には両社の損失を投資名下に補てんしたものというほかない。

これは地方自治法第138条の2、第232条の4第2項及び地方財政法第4条、並びに美作市会計規則第48条等に照らしたとき、また「第三セクター等の抜本的改革の推進等について」（総財公第95号、21.6.23）にも違背する処分であり、不当支出と思われる。

そのような法令等の定めがあるにも関わらず、あえて清算に必要な資金を、返還等されることが全く考えられない第三者割当増資により賄ったことは、取締役などの責任を美作市に転嫁したのものとも受け取れるので、株主等関係責任者において、支出清算すべきであると考えるので、法的手段の活用も含め相当対処されたい。

⑰新クリーンセンターの建設計画について

新クリーンセンターの建設事業については、平成21年1月の津山広域からの脱退も含め、検討不十分なままに計画を進めてきたことから、数次にわたる設計変更を余儀なくされてきたところである。

それに伴って本来支出しなくてもよかった経費の支出や、いらぬ労力等の投入を重ねてきたところであり、平成25年度においても、規模変更に伴う大気質影響検証業務などの支払いが生じていることは誠に遺憾である。

今では最終処分場の建設計画を残すのみとなったが、多額の国税と市税を使った計画であることを自覚し、今後はこのようなことのないよう改められたい。

また新クリーンセンター施設のみを対象として、ISO・14001の取得支援手続きに入っているが、将来にわたって経費と労力負担のかかる課題であるので、費用

対効果の観点から直ちに再検討されたい。

⑱大芦高原国際交流の村施設の改修工事等について

平成25年度実施予定の大芦高原国際交流の村の改修工事等を計画するに当たり、第三者の介在を許したのみか同人の意に重きを置き、当初計画内容の変更に至らしめたことは、遺憾の極みである。

また株式会社雲海が設立されたのは平成25年4月2日、同社を公の施設である大芦高原国際交流の村の指定管理者に指定するという議会議決を得たのは同年6月28日であり、美作市が指定管理の決定通知をしたのも、株式会社雲海と基本協定を締結したのも、営業再開二日前の同年7月1日という考えられない取り運び方である。

このような直前指定であったことから、実務的には指定を受ける数か月前から7月3日の営業開始に向け、株式会社雲海では指定管理になることを前提として、営業開始に向けての雇用や各種調達、インターネットでの周知宣伝、さらには市の固定資産である大芦高原国際交流の村施設の変更にかかわる工事等を、開始せざるを得なかったのである。しかも営業再開に向けての仕事の多くを、美作市も株式会社雲海も、同社の職員でもなかった第三者頼みに取り運ばせたことは、あまりにも杜撰であつたというほかない。

そしてその支払金は、同社には他に何の資金もないことから、当然のこととして美作市が出資した2,500万円を含む2,650万円の資本金と指定管理料の500万円で賄われているが、一部工事等については市も承知していたということであるものの、手続きの不明瞭なことや、出資金や指定管理料の管理を含む責任の所在を含め、あまりにも杜撰であつたと言わざるを得ない。

目下百条委員会において調査中とはいえ、事実関係を究明の上、相当措置されたい。

⑲指定管理者の選定について

指定管理者の指定の手続きについては、「美作市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例」により公募が原則であるところ、平成25年7月1日指定の大芦高原国際交流の村については、公募することなく同年4月2日に設立した株式会社雲海のみ申請させ、しかも同社の取締役である副市長及び田園観光部長を含む市の関係職員のみで構成する指定管理者選定委員会において検討し、何の実績もノウハウもない同社を、「大芦高原国際交流の村の指定管理者とすることが適当と認める。」と決定し、同年7月1日指定通知をしているが、株式会社雲海の短期破たんという結果を見たとき、このような杜撰な指定管理者選定にも起因しているものと言わざるを得

ず、その責任は免れないものと思われる。

また、平成25年度に指定管理期間が終了する6施設に関する次の指定管理者の選定についても、すべて条例に定める公募原則によらず、「特定の団体（市が出資している法人または公共団体若しくは公共的団体）以外では施設の設置目的の達成や適正な運営の確保ができないことは明らか。」との同一理由でもって引き続き指定管理者に指定しているが、関係法令等を研鑽の上、応募者の有無は別として、選定の公平性や透明性に欠けるようなことのないように改められたい。

最後に、適正な職務の執行について職員一人一人がコンプライアンス（法令順守）の原点に立ち返り、意識改革に取り組み、これまで以上に適正な職務の執行に努められたい。また、厳しい財政情勢の中、行財政改革を推進し、より一層の行政サービスに努めるとともに、財源確保と経費の削減・節減を図り、効率的予算の執行を期待するとともに、市民福祉の向上に寄与されるよう望むものである。